



過ごしてきた日々 新たな時代へ

あなたの「平成」は、どんな日々でしたか。
私たちの街「荒川区」は、輝く未来へと着実に進んできました。
今号では、「平成」という時代を過ごしてきた荒川区の風景をご紹介します。

問合せ 広報課広報係 ☎内線2132



▶新しい時代の始まりに寄せて



荒川区長・特別区長会会長
にしがわ たいちろう
西川 太一郎

美しい桜の季節になりました。今日から、新年度がスタートします。これを機に、新しい環境に一步を踏み出す皆様に対し、心からのエールを送りたいと思います。

「内平らかに外成る」「地平らかに天成る」との中国の故事に由来し、内外・天地の平和の実現の願いを込めた「平成」の時代が静かに幕を下ろし、そして、まもなく、新しい時代がやってきます。

区は、これまで、都市公園内における保育園・学童クラブの設置、永久水利施設の整備を始め、区政のあらゆる分野で知恵を絞り工夫を凝らした先進施策を積極的に実施し、各方面から高い評価をいただいています。

さらに、今年度予算は「輝く未来の礎(いしずき)予算」と位置付け、区立児童相談所設置に向けた準備や災害時には避難所にもなる全区立小・中学校の体育館への空調設備の設置、都市公園内の新尾久図書館の建設等、先進的な取り組みをさらに一層進めて参ります。

今日の区政があるのは、区民の皆様を始め、これまで区政に携わった多くの方のためまぬ努力の賜物であります。これからも、「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指して、職員一丸となって全力で取り組んで参りますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。